

ひとことインタビュー



田舎の味忘れられない

神奈川県横浜市
福士和夫さん(75歳)
〔川向町出身〕

会には、1回欠席した以外はすべて参加しています。知らない人たちでも郷土の話で盛り上がり、古里山田を身近に感じることができます。また、いくつになっても田舎の味が忘れられず、すつとぎなどの物産をたくさん買いました。足腰が達者なうちは、会に参加し続けたいですね。来年、喜寿を迎えるので、山田での同級会で友人に会えることを楽しみにしています。

古里に帰った気分です

埼玉県熊谷市
今井京子さん(46歳)
〔大沢出身・旧姓福士〕



都会に住んで感じますが、やはり山田は水も空気もすべてのものが最高です。実家や親戚、友人が旬のものを送ってくれるので、いつも楽しみにしています。最近山田に帰っていないので、こうした山田弁が飛び交う会場で友人と再会し、思い出話や近況報告などをすると、とても心が和みます。山田に帰った気分になりますね。来年もぜひ参加したいと思います。



素晴らしい自然大切に

神奈川県葉山町
山崎時彦さん(60歳)
〔大浦出身〕

山田を離れて42年になります。会では郷土の言葉に触れることができ、毎年楽しみに参加しています。会ではわたしにとって元気の源。ストレスの解消になります。参加者に配布された山田湾の写真を見ましたが、古里の風景を思い出しオランダ島でイモを炊いて食べていた頃がよみがえってきました。あの頃と同じ素晴らしい自然をいつまでも大切にしてほしいですね。

同郷人同士が集れば会話も弾みます



懐かしい人との思い出話は尽きません



特産品が当たる抽選会が行われ、当せん者はうれしそうに受け取っていました



都会を包む古里の香り 同郷155人が集い親ぼく深める

総会では堀合辰夫会長が「皆さんの協力により同会も今年で十八回を迎えることができ、喜ばしく思っています。今日は時間の許す限り、会員同士の親ほくを深めてもらいたい」とあいさつ。その後、平成十四年度の事業報告や本年度の事業計画などが審議され、原案どおり承認されました。

続いて、沼崎喜一町長が町の近況を報告。「同郷の会の皆さんには、町の発展のためご協力いただき感謝申し上げます。四月に統一地方選挙が行われ、町議会では四人の新しい議員が誕生。議長、副議長とともに留任となりました。市町村合併が話題になっていますが、町としては当面、単独で自立の道を選びました。また懸案であった県立山田病院の建設は、土地地区画整理事業が行われている柳沢地区に決定しました。皆さんがいつ古里に帰ってきてきても温かく迎

え、人情のある町づくりに取り組んでいきますので、今後とも町に対してのご提言などをお願いいたします」と述べました。その後、オランダ大使館のモニーク・ルーヘ文化報道部長が「これまで、さまざまな交流を進めてきた山田とオランダ。これからも関係がより強くなっていくことを願っています」とあいさつしました。

総会終了後の、「懇親交流の集い」は、佐々木良一町議会議長の乾杯の音頭で幕が開け、同郷人同士が古里を懐かしみながら、ほろ酔い気分でした。会場では山田の秋祭りなどを収録したビデオの上映や販売を実施。また、物産販売や特産品が当たる抽選会も行われ、参加した皆さんは古里を思い出し満足した様子。最後に地区ごとに記念撮影を行い、来年の再会を約束し会場を後にしました。

東京近郊に暮らす本町出身者などが集い、交流を深め合う「ふる里山田同郷の会」が六月十六日、中野区のサンプラザを会場に開かれました。今年で十八回目を迎える同会には、百五十五人が出席。町からも沼崎喜一町長をはじめ職員五人、町議会からは佐々木良一議長ら四人、さらに山田町商工会の阿部幸栄会長が参加しました。総会で本年度の事業計画や収支予算などを審議した後、参加者お待ちかねの「懇親交流の集い」が開かれ、会場のあちこちに談笑の輪がいくつもできると、年に一度の同郷人同士の交流を楽しんでいました。

堀合会長が春の叙勲を受章



勲四等瑞宝章を受章した堀合辰夫さん

「ふる里山田同郷の会」の会長である堀合辰夫さん(七〇)が平成十五年度春の叙勲で勲四等瑞宝章を受章しました。

堀合さんは、昭和三十六年に弁護士となり、昭和三十八年には堀合辰夫法律事務所を開設。以来、数々の著名事件に携わってきました。また、日本弁護士会連合会の常務理事や東京家庭裁判所調定委員・参与員などの要職を歴任。今回の受章は長年にわたるこれらの功績が認められたものです。

堀合さんの今後ますますのご活躍を祈念いたします。